



# 正副会長の活動状況

## — 会務報告 —

日本弁理士会 副会長

大澤 豊

### 【はじめに】

本年度副会長を務めさせていただきます大澤豊です。どうぞよろしくお願い致します。本稿執筆時点で、役員会立ち上げ準備のための次年度会務検討委員会の約5ヶ月と、4月に副会長としての任期が始まってからの4ヶ月とが経過しましたが、あっという間の日々でした。次年度会務検討委員会では、当時の副会長や、各附属機関長、支部長等からお話を伺いつつ、本年度の事業計画、予算、諮問事項等を検討しました。年度が変わってからは、ご挨拶回りや委員会立ち上げ等の通常業務の他、財務担当として予算案を策定したり、B法人問題の担当として関係省庁と会合を持ったり、中華全国専利代理人協会を訪問した際の研修講師をしたり、営業秘密保護検討WGの新規設置の準備をしたりと、大忙しの日々でした。最近、ようやくこれらの業務が落ち着いてくると共に、委員会に検討をお願いした事項に対する検討結果が徐々に出て参りましたので、今後はそれらを踏まえ、必要な例規改正等に向けた動きを進めていく所存です。

以下、私が担当しております委員会等についてご報告させていただきます。

### 【特許委員会】

特許、実用新案の制度及び審査基準等に関する調査、研究、政策提言等を行います。PCT等の特許関係条約に関する事項も守備範囲です。さらに、昨年度から、旧ソフトウェア委員会を統合し、コンピュータ・ソフトウェアの保護についての検討も扱うことになりました。本年度は、昨年度改訂された特実の審査ハンドブックに掲載された審判決例を検討し、その追加、変更等についての提言を行うことを予定しています。また、特許制度のグローバル化に向けた各国制度の比較及び望ましい方向性についての提言も予定しています。さらに、最近にわかに注目を集めている、AIや

ビッグデータに関する創作物をどのように保護すべきかについての提言も行う予定です。

### 【バイオ・ライフサイエンス委員会】

バイオ・ライフサイエンス分野に特化して、特許庁の法制度に関する政策提言を行います。特に、生物関連発明や再生医療等の保護に重点を置いています。今年度は、バイオ関連・医薬発明の進歩性判断、個別化医療関係発明についての特許性の国際比較、バイオシミラーを意識した高分子医薬品の保護、バイオ・医薬関連技術の営業秘密としての保護手法、医薬の用途発明の保護範囲、バイオ関係のベンチャーキャピタルの動向等について調査及び研究を行っています。

### 【総合政策企画運営委員会】

日本弁理士会、弁理士制度、知的財産制度、知的財産支援の総合的な中・長期計画の検討を行います。特に、知的財産推進計画に関する日本弁理士会の意見とりまとめや、同計画に関して日本弁理士会がなすべき事項の検討を行います。また、他の委員会に属さない日本弁理士会会務全般に関する事項及び、インターン制度に関する事項も取り扱います。本年度は、会員間の会務負担の平準化を図るべく日本弁理士会の委員会等の職務を会員に割り当てるための具体的方策について、検討を行っています。この点については、会員の皆様に、少々のご負担をお願いすることになるかもしれませんが、また、実務系委員会の答申書や海外団体との情報交換の報告書など、日本弁理士会が保有する実務に関連する情報を、会員の皆様がより見やすい形で公開するための方策についても検討しています。

### 【財務委員会】

日本弁理士会の財政に関する事項の調査、研究、審議立案等を行います。今年度は、平成24年度の会費

値下げ後の収支を踏まえた日本弁理士会の財政の見通しについて検討を行っています。また、委員会等の業務で出張する場合の旅費に関する規定について、現行規定の制定時からの状況の変化を踏まえて、妥当な金額を支給するように規定を見直す予定です。

### 【経営基盤強化委員会】

特許事務所の経営基盤を強化する方策を検討して会員に提案し、もって特許事務所の競争力の強化の取り組みを支援・推進することを目的としています。今年度は、昨年度試験的に提供した特許事務所向けの経営分析ソフトの改良、昨年度好評であった、事業承継及び連携を希望する会員同士が知り合う場を提供するためのマッチングセミナーの継続的開催、事業承継や、一人事務所における弁理士が急に執務不能となる場合に備えるための注意事項集の作成、特許事務所間の過度な価格競争を避けるための方策の検討、特許事務所の経営について相談できる相談員を、希望する会員に紹介できるようにするための試み等を行っています。

### 【知財政策検討 WG】

日本弁理士会に関する知財政策について検討及び意見交換を行うための WG (ワーキンググループ) です。政治家の動きにも詳しい、経験豊富な委員にお集まり頂き、幅広い視点から、日本弁理士会が政府や官庁等に求めていくべき知財政策について検討を行っています。

### 【タイムスタンプ WG】

INPIT が来年度から実行を予定しているタイムスタンプ保管事業を見据え、タイムスタンプを利用した業務に弁理士がどのように関与し、そこから収益を上げられるかについて検討を行っています。具体的には、将来先使用权を主張できるようにするための証拠の確保や、営業秘密として保持している事項の明確化等について検討を行っています。そして、これらの検討結果に基づく会員向けセミナーを開催予定です。

### 【営業秘密保護検討 WG】 (副担当)

弁理士が営業秘密の保護に積極的に関与し、特に中小企業に対して適切なアドバイスができるようにする

ための方策について検討を行っています。その検討結果は、随時会員に向けて発信していきます。

### 【知的財産戦略本部対応 WG】

政府の知的財産戦略本部への対応を検討するための WG です。知財戦略本部の委員となられている会員にもご出席頂き、日本弁理士会として、知的財産戦略本部で議論されている事項についてどのような意見を発信していくべきかを検討しています。

### 【東北支部】

人数の少ない支部であることもあり、いままでは役員中心の運営でしたが、今年度からは支部委員会を設置し、より多くの支部会員に活動へ参加して頂くことを目指しています。今年度は、東北地域で開催されるエキスポに出展し、相談会を開催予定です。また、弁理士知財キャラバン事業にも、積極的な協力を頂いています。

### 【監事会 (財務)】

監事会は、執行役員会の会務の執行並びに日本弁理士会の資産及び会計の状況を監査します。執行役員会は、監事会に事前に役員会の議事録を提示し、疑問点についてご質問を頂いて、月一回の会合にて回答を差し上げます。財務については、担当の私が、月次の日本弁理士会の資産状況及び収支状況を報告しています。監事会には、このほかに会計帳簿や証憑書類等の突合監査も行って頂いています。

### 【最後に】

実際に副会長になってみると、日々処理しなければならない業務が非常に多く、ともするとそれらに追われるだけで時間が過ぎてしまいます。しかし、そんな中でも、弁理士の将来を見据え、弁理士の活躍の場を広げ、また弁理士が弁理士業務の遂行により社会に貢献することを通じて十分な収益を上げられるようにすることを考えつつ、残りの任期の活動をして参る所存です。至らぬ点多いと思いますが、お気づきの点がありましたら、是非忌憚のないご意見を頂けますと幸いです。